

平成31年度白石市まちづくり交付金事業実績

平成31年度に一次募集で採択された白石市まちづくり交付金事業14件の事業実績について報告します。

□沢端川周辺環境美化整備事業（沢端川の環境を守り鯉を育てる会）

環境美化および観光振興に寄与するため、多くの観光客が訪れる白石城や武家屋敷への散策路となっている沢端川周辺の木々の剪定や樹勢回復など、環境整備を行いました。



▲沢端川近くの松の剪定



▲支柱の設置

□鷹巣第5公園緑化植栽事業（鷹巣自治会）

第5次白石市総合計画白石地区まちづくり宣言の実現に向けて、市の「城花町しろいし」事業に賛同し、鷹巣第5公園の緑化事業に取り組みました。きれいになった花壇は地域住民やホワイトキューブ来訪者の癒しの空間になっています。



▲多くの方が参加して植栽しました

□国道113号鹿野地区花壇再生事業（上郡山自治会館運営委員会）

上郡山第一・第二自治会の住民相互の親睦をさらに深めるために、国道113号沿いの「ふれあい花壇」に花を植栽し、安心して子ども達と大人が集う地域社会を形成しました。



▲5月植栽(左)、11月植栽(右)の様子。子どもたちが多く参加し、最後まで真剣に植栽しました

□白石川堤防環境美化整備事業（白石川堤防の桜を守る）

古くから花見の名所として市民に親しまれている白石川堤防周辺の桜並木の環境整備のため、白石川周辺の桜の剪定、雑木の刈払い等を行いました。



▲桜の枝を剪定



▲雑木の刈払い

□斎川夏まつり盆おどり大会（夏まつり実行委員会）

住民同士でより一層の交流を図り、地域の活性化に繋げるため、伝統ある夏まつりを各世代が協力しながら開催しました。高齢化により組立が困難になったやぐら組立や仮設電気配線工事に交付金を活用しました。



▲組み立て中のやぐら



▲盆踊りを楽しむ参加者

□きらり斎川笑アップ塾（斎川まちづくり協議会）

昨年度実施した全住民アンケートの結果をうけ、課題解決のための「地域円卓会議」や「ささえあいマップづくり」を行いました。これまでの活動が評価され、「第72回優良公民館表彰」において、東北で初めて斎川公民館が最優秀館に選ばれる快挙となりました。



▲参加者の膝の上に円卓を乗せて行う「円卓会議」



▲福祉的な課題を話し合った「ささえあいマップづくり」

□大平消防世話人会活動推進事業（大平消防世話人会）

各自治会から選出された委員で形成される「世話人」を通して、毎月の見回り等を実施し、地区の防災活動を行うと共に、秋季消防演習等、消防団の行事の補助活動を行いました。また、活動の際の法被の新調等に交付金を活用しました。



▲新調した法被を着用



▲消防団の行事補助の様子

□ごみ集積所環境改善事業（大鷹沢9区環境保全会）

地域の環境保全並びに地域発展に寄与するため、ごみ集積所に掲示板の設置、駐車スペースの確保、ごみ置き場の移設を行いました。ゴミ出しルールの改善や、駐車スペースの確保によって通行スペースに支障がなくなりました。



▲気軽に情報共有が行える掲示板



▲整備されたごみ集積所の様子

□白川夏まつり（仮装盆踊り大会）（白川振興会議）

地区民の交流を深め、地域の活性化に繋げるため、舞台組立工事費、音響設備レンタル料、出演者謝金等に交付金を充てて夏祭りを開催しました。



▲スイカ割りに挑戦する子ども



▲仮装して盆踊りを楽しむ参加者

□花と緑の地域づくり事業『花で癒そう上原を！』（上原自治会）

地区住民の交流を深め、地区内を花で癒す花と緑の地域づくりを推進するため、県道254号線沿いの花壇や地区内の交差点などに花を2回植栽しました。また、自治会内の全家庭のプランターにも花を植栽し、維持管理しています。



▲5月の活動時の集合写真



▲花壇に慣れた手つきで植栽する参加者

□地域内を花と緑で笑顔溢れる地域づくり（山根自治会）

地区内の環境整備と地区民同士の交流を深め笑顔溢れる地域にするため、花壇を整備し花を植栽しました。植栽用花苗や培養土、プランター等の購入に交付金を活用しました。



▲参加者が協力しあいながら花壇整備を行いま



□深谷地区夏まつり大会（深谷夏まつり実行委員会）

地区民の融和と地区の活性化のため、舞台組立、仮設電気工事に交付金を充て、地域の人たちとの連携と協力により、地区民全員が参加できる夏まつりを開催しました。



▲神楽を披露する子ども



▲盆踊りを楽しむ参加者

□検断屋敷まつり（小原地区活性化推進協議会）

地域資源の材木岩公園と検断屋敷を活用し、交流人口の拡大を図るとともに、小原の自然景観や地場産品をPRするために、検断屋敷まつりを開催しました。台風19号の影響で秋は開催できなかったものの、他の3回は大いに盛り上がりました。



▲夏の検断屋敷まつりの水中スイカ割り



▲冬の検断屋敷まつりの餅つきの様子

□柿渋を使った地域づくり（柿渋作りを楽しむ会）

柿渋作りを通して、他地域及び世代間交流をすることにより、小原地区の活性化に繋がりました。また、ペーパークラフトづくりを実施したり、白石市内イベントでの作品の展示販売も行いました。



▲柿渋の仕込みの様子



▲作品展示・販売会の様子

平成31年度に二次募集で採択された白石市まちづくり交付金事業3件の事業実績について報告します。

□地域おこし宝物マップ活用活性事業（越河地域振興会）

地域住民はもとより徒歩旅行者等にも地域の魅力発信を行うために、越河公民館と越河駅に地域宝物マップ看板の設置と地図（看板絵図をA3判サイズに印刷したもの）入りのボックスを設置しました。



▲越河公民館と越河駅にある看板



▲設置したボックス

□大平多目的運動公園造成事業（大平老人クラブ睦会）

大平森合字北原堂の敷地の石の排除や土盛りを行い、高齢者が支障なく歩き回れるように整地しました。今後は、住民同士の交流を深め、一層の「健康増進」を図ります。



▲整備時の作業風景



▲整備後の敷地

□深谷地区の神社の名前・神社の由来看板設置と記念植樹（白石市深谷公民館運営委員会）

深谷地区の地域活性化と地域の歴史を次世代に伝承するため、地元の神社等の由来看板を2か所に設置し、記念植樹をしました。



▲白鳥神社の看板と記念植樹



▲深谷地藏堂の看板と地域住民